会社案内 - Company Profile -

コーポレートシンボル

ロゴマークは極楽浄土に住むといわれる「共命鳥」（ぐみょうちょう）がモチーフになっています。
この鳥は二つの頭がそれぞれ違う意思を持ち、時に対立することがあっても互いに一つの命を共有しています。
同じように私たち人間も自分と他人を分けて考えていますが、実は自分というものは、自分とは別の立場の他人によって、生かされ育てられているのだという仏教の重要な思想を共命鳥があらわしている、といわれています。

このことは商いにおいても同様である、と私たち日成共益は考えます。
「全ての仕入先様、得意先様に共に利益を得ていただこう」という創業以来の「共益」の精神は、共命鳥の教えに通じるものです。また国境を越えて自由に羽ばたく鳥は、世界を舞台に「日に日に仕事を成し遂げて成長していこう」という意味である「日成」の発展への願いを表しています。

お取引先様と共に、新しい価値を創り、共に幸せになる。私たち日成共益はそんな思いをこの共命鳥のロゴマークに込めました。

会社案内 - Company Profile -

ごあいさつ

取締役社長　熊谷　和男

当社は、1932 年（昭和 7 年）にミルクカゼインの取扱いをはじめて以来 90 年の歴史がある専門商社です。
現在、営業部門は、食品材料部門と化学品部門の外に、新規事業部を配置して、これら三つの部門のコラボレーションによる、営業活動の活性化と積極的なチャレンジを推進しております。さらに、開発部が技術的な側面から、営業部門を強力にバックアップしております。

私が将来のビジョンとして思い描いているのは
「誰もが真似したい、しかし誰も真似できない、オンリーワン企業」です。
時代の変化に対応した組織を構築し、専門商社としての機能性の高度化および多様化を目指します。そして新市場の創造に挑戦します。関連会社とのコラボレーションや海外への展開も増やしていきます。
協力しアイディアを出し合い、情熱を持って挑戦し続けることで、実現していこうと考えています。

当社のミッションは
「ものづくりを支える人々と共に、新しい価値を社会に提供し、幸せを創造すること」です。日成共益はこれまでも、ものづくりを支える人々と共に歩んできました。
しかしこれからは共に歩むだけでなく、新しい価値を提供することでときにリードしていくことが必要だと思います。
そして共益の精神で、仕入先にも得意先にも、多くの消費者の方々にも幸せを感じていただける仕事をしていく所存です。

これらのビジョンとミッションを広く皆様にお伝えしたいと思い、コーポレート・スローガンを創りました。
「共に新しい価値を　幸せ商い企業　日成共益」
一緒に新しい価値を創っていくことで、みんなを幸せにしたい、そしてみんなで幸せになりたいと願っております。

会社案内 - Company Profile -

会社概要

社名	日成共益株式会社
本社	〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町７番地 電話（03）3293-3741（代表） FAX（03）3233-1174 URL https://www.nissei-jp.co.jp/
創業	昭和７年10月１日
設立	昭和14年３月28日
代表者	熊谷 和男
資本金	218,225,000円
従業員数	160名
国内事業所	７か所
海外事業所	２か所

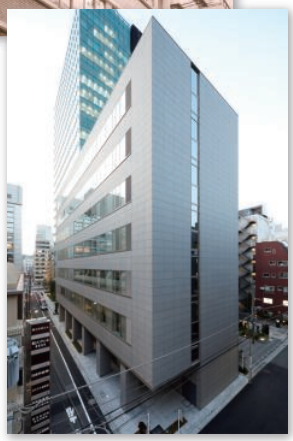
役員一覧

取締役社長	熊谷 和男	
専務取締役	熊谷 耕平	営業部門統括・食品新規事業部長
常務取締役	熊谷 圭輔	人事部長・情報システム室長
取締役	黒沢 利雄	経理部統括部長
取締役	奥山 暁	食品材料第１部・第２部統括部長
取締役	倉内 政明	食品材料第３部長
常勤監査役	中山 博文	
執行役員	三浦 眞司	経営企画部長
執行役員	福島 智哉	化学品第１部長
執行役員	蔭山 裕幸	化学品新規事業部長

会社案内 - Company Profile -

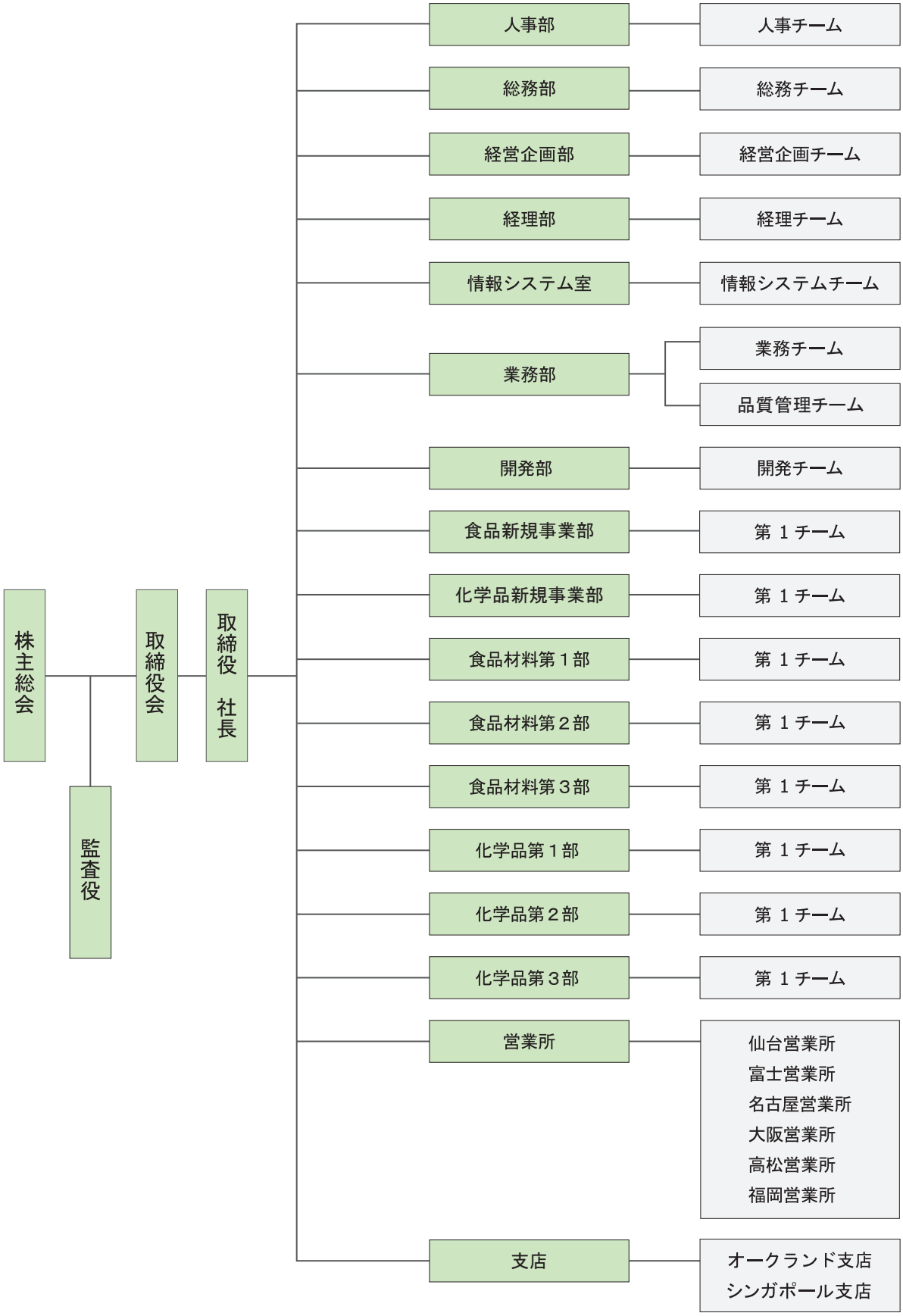
会社沿革

1932 年 昭和 7 年	10 月 1 日、熊谷吉蔵 (第 2 代社長) が東京市芝区西久保巴町に日成商会を設立し、 ミルクカゼイン、チョコレート原料、練乳等の販売を開始
1939 年 昭和 14 年	3 月 28 日、株式会社日成商会に組織変更
1944 年 昭和 19 年	日成共益株式会社に社名変更
1950 年 昭和 25 年	アルゼンチン、オーストラリア、デンマーク、ニュージーランドの各国からカゼイン を輸入し販売を開始する 大阪営業所開設
1958 年 昭和 33 年	ニュージーランド・ディリーボードとカゼインの国内一手販売契約を締結 オーストラリアの有名サプライヤーとも同様の契約を締結
1960 年 昭和 35 年	神田美土代町の本社ビル竣工 輸入ラテックスの販売開始
1963 年 昭和 38 年	吉原出張所 (現富士営業所) 開設
1964 年 昭和 39 年	国産ラテックスの販売開始
1968 年 昭和 43 年	カオリンクレーの販売開始
1970 年 昭和 45 年	台湾とのカゼイン三国間貿易開始
1972 年 昭和 47 年	ニュージーランド産エディブル・カゼインの供給開始
1980 年 昭和 55 年	高松営業所開設
1982 年 昭和 57 年	日本プロテン (株)(現フォンテラジャパン (株)) 設立
1985 年 昭和 60 年	神田美土代町 5 番地に第 2 日成ビル竣工
1987 年 昭和 62 年	名古屋営業所開設
1996 年 平成 8 年	仙台営業所開設 福岡営業所開設
2004 年 平成 16 年	ISO14001 認証取得 ニュージーランドに NISSEI KYOEKI NZA LTD. 設立
2006 年 平成 18 年	三協食品工業 (株) を買収 (有) グローバル・チーズを買収
2009 年 平成 21 年	神田美土代町 本社新社屋竣工
2011 年 平成 23 年	ニュージーランドの NISSEI KYOEKI NZA LTD.を閉鎖し、 日成共益株式会社 オークランド支店開設
2013 年 平成 25 年	ISO14001認証を返上し、自主管理へ切り替え シンガポールに駐在員事務所開設
2014 年 平成 26 年	シンガポールにNISSEI KYOEKI SINGAPORE PTE LTD.を設立 東神商事(株) を買収
2019 年 平成 31年	シンガポールのNISSEI KYOEKI SINGAPORE PTE LTD.を閉鎖し、 日成共益株式会社 シンガポール支店開設



会社案内 - Company Profile -

組織図



会社案内 - Company Profile -

営業所一覧

仙台営業所	〒980-0811　仙台市青葉区一番町１丁目10番23号　TM小田急ビル１階 TEL（022）266-3061（代表）　FAX（022）266-3067
富士営業所	〒417-0035　富士市津田町39番地 TEL（0545）52-0499（代表）　FAX（0545）51-1244
名古屋営業所	〒460-0002　名古屋市中区丸の内1丁目17番19号　キリックス丸の内ビル4階 TEL（052）201-9701（代表）　FAX（052）201-9677
大阪営業所	〒530-0044　大阪市北区東天満1丁目9番5号 TEL（06）6352-4681（代表）　FAX（06）6352-7171
高松営業所	〒760-0007　高松市中央町11番12号　日成高松ビル201号 TEL（087）834-0175（代表）　FAX（087）831-5264
福岡営業所	〒812-0011　福岡市博多区博多駅前1丁目4番1号　博多駅前第一生命ビル7階 TEL（092）473-7255（代表）　FAX（092）473-7271

海外支店一覧

オークランド支店	Level8, 139 Quay Street, Auckland 1010, New Zealand TEL +64-9-363-5657
シンガポール支店	10 Anson Road #20-03 International Plaza Singapore 079903 TEL +65-6224-1540

関連会社一覧

フォンテラジャパン株式会社	〒108-0075　東京都港区港南2丁目16番2号 太陽生命品川ビル25階 TEL（03）6737-1800
三協食品工業株式会社	本　社 〒350-1101　埼玉県川越市的場754-4 TEL（049）231-1711 営業部 〒101-0053　東京都千代田区神田美土代町7番地 日成共益ビル5階 TEL（03）3293-8566
グローバル・チーズ株式会社	本　社 〒283-0826　千葉県東金市丘山台2-1-84 TEL（0475）52-7081 東京事務所 〒101-0053　東京都千代田区神田美土代町５番地2 第2日成ビル６階 TEL（03）3293-8568
東神商事株式会社	〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町17番1号 日本橋ロイヤルプラザ621号室 TEL（03）3664-3031
上海三協食品有限公司	邮编200030　上海市徐滙区漕溪北路18号 上海实业大厦14楼E-1座 TEL +86-21-6427-9177

事業紹介 - Business overview -

食品材料第１部・第２部

●業務内容

世界各国から厳選された乳製品を中心とした幅広い種類の食品原料を輸入し、乳業、チーズ、製菓、製パン及びニュートリション業界を中心としたお客様への販売を行っております。
常に新しいニーズを模索し、お客様の製品化に必要なレシピ提案や原料提案など、当社ならではの付加価値を加えた提案を通じて、お客様に貢献します。
特にニュートリション分野については、アスリート向け製品や近年の健康ブームをターゲットにした製品供給を強化しており、さらには高齢化社会に即したアクティブシニア・ロコモティブシンドローム関連製品の開発も進めております。

●特徴

主な取扱い商品は、欧米・オセアニアから輸入した乳タンパク・チーズ・機能性乳原料等の乳製品となります。
当社は ひとりひとりの社員が高い専門知識を有しており、お客様のニーズに合わせた原料の選定、関連会社との連携による原料品質チェック、サンプルの作成、製品製造まで幅広いプロセスにおける提案が可能であり、メーカー機能を含めた一貫的なサービスを提供できるのが強みです。
お客様の要望を的確にヒアリングしながら、時にはお客様の期待を上回る提案を行い、今まで以上の価値や機能を持った商品の開発サポートを行うことで、消費者に新しい価値を提供し、社会に貢献します。

●戦略ビジョンについて

変化に対応し新たな時代を築いていきます。世界のトレンドを敏感に察知し、お客様に最新の情報を提供します。
日本の「安心・安全」というキーワードを海外の仕入れ先メーカーに啓蒙し標準化することで、高度な品質管理体制で製造された安全な原料を輸入し日本のお客様に安定的に供給することが我々の役割だと考えております。
また、近年世界では日本食がブームになっております。
日本の食文化を研究し、自ら情報を発信しながら日本の食が海外に進出していく時代に対応していきます。
今後は、国内製造関連会社とのコラボレーションを深めていき、海外販売拠点との連携を強め日成共益グループ一丸となって新たな市場を開拓していきます。

食品材料第３部

●業務内容

当部は乳製品以外の食品原材料を主に取り扱っており、国内外のサプライヤーから仕入れた食品原材料を、加工食品・製菓製パン・調味料・冷食・飲料と各種食品業界へ販売しております。
商品によっては海外関連会社との連携や3国間貿易も行っており、状況に応じた販売形態で対応致します。

●特徴

主な取扱い商品は、機能性澱粉・フルーツ加工品・インスタントコーヒー・パスタ・ポリデキストロース・各種エキス類・調味料等であり、お客様のニーズにあった商品の提案や当社開発部で商品の特徴を生かせるレシピを検討し提案しております。
専門商社として商品の専門知識を持った営業マンが個性を発揮することで、皆様のご要望に貢献いたします。

●戦略ビジョンについて

新たなビジネスモデルを確立させていくことが、我々専門商社として向かうべき方向と考えており、皆様にとっても価値ある企業として認識して頂けると考えております。
当社のビジョンでもある「オンリーワン企業」を目指すために、メーカーポジション的な立ち位置で、新たな商品を投入致します。
他にはないオンリーワン的な商品を作り出すことで、付加価値のある商品として、お客様へ貢献できると確信いたします。
食品業界は、消費者の嗜好に合わせた新製品の投入サイクルが早く、かつ安全性にも十分ケアしていかなければなりません。
海外サプライヤーの新規開拓や教育も継続して行い、常に安心できる商品を提供できるよう、取り組んでまいります。

事業紹介 - Business overview -

化学品第１部

●業務内容

化学品第1部は、印刷用紙を製造する際に使われる各種工業薬品を製紙会社へ販売することを主な業務としています。お客様のニーズにより多種多様な薬剤が使われますが、当部では主にカゼイン、ラテックス、澱粉、クレー、炭酸カルシウム、蛍光染料、活性炭、エマルジョン等を中心に取扱い、国内はもとより海外においても幅広く展開しております。

●特徴

化学品第1部では、製紙分野および工業薬品の仕入・販売を中心に活動しております。
当社の90年以上の歴史の中でも特に製紙業界とのつながりは深く、過去に蓄積した様々な販売経験を活かしながら、技術サービスも含め、長年に渡り各種工業薬品はお客様からご愛顧いただいております。
また当部では各種化学薬品、鉱産物、合成樹脂などの商品を仕入れ、販売しており、その仕入供給ソースは国内メーカーだけに留まらず、近年ではアジア近隣諸国のメーカーまで拡大し、お客様から支持を得ております。

●戦略ビジョンについて

先進国のみに留まらない全世界的な産業の発展は、環境問題を解決する事が産業全体での喫緊の課題であると捉えられており、そこに顧客ニーズが潜在しております。その中で、化学品第1部では焼却灰や汚泥等の産業廃棄物の有効利用にかかわる製品に注力します。
あわせて廃材をリサイクルする事で付加価値を生む新素材開発にも注力して行きたいと考えており、それら新素材で製造機器類や建築資材等への市場開発に挑戦します。
またOEM先を活用しての当社オリジナル製品の開発や、プリント配線基板や健康食品業界等の新しい成長分野へのチャレンジも行ってまいります。
なお食品の安心・安全に対する消費者の関心は益々高まっており、全社で連携を取りながら、生鮮食品加工業界向けに新しいタイプの殺菌剤の普及を促進させる事で、食品の安心・安全を担保する事へ貢献して行きたいと考えています。
今後、当部では、アジア市場全体での新しい展開を図っていきます。現在は中国市場との取引が中心になっておりますが、今後はアジア市場全体を見据えた新たな輸出入（3国間貿易等）の取引拡張を進めてまいります。

化学品第２部

●業務内容

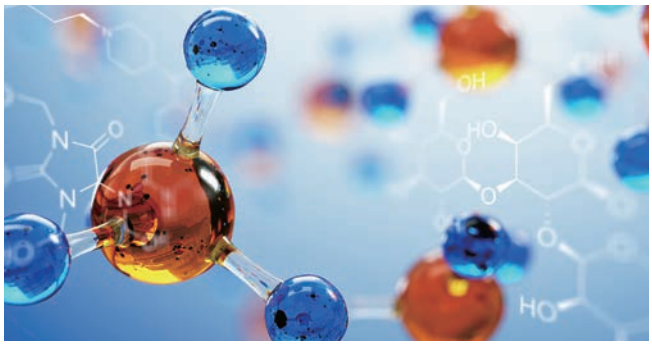
化学品第2部は、製紙分野以外での国内外の幅広い分野への化学品の取り扱いを行う事を主な業務としています。お客様のニーズにより業界に偏重しない非常に幅広い化学品の取り扱いを行っており、近年では石油・石炭等のエネルギー源を代替するタイヤチップや、工業排水浄化用活性炭、排ガス浄化用高品質尿素の取り扱いも始めており、関わる領域は環境分野まで及んでいます。

●特徴

化学品第2部では、製紙分野以外への工業薬品や素材等の仕入・販売を中心に非常に幅広い分野での活動をしております。
当社の90年以上の歴史の中でもカゼインの販売を中心として接着剤、樹脂等の業界との歴史的結びつきが強く、これをベースとして様々な分野へと裾野を広げています。
その事業領域は拡大中で、EV自動車関連への精密試験機の販売や法規制の変化に伴う食肉加工・果実野菜業界向けに新しい殺菌剤を導入する等、変化の絶えない市場にマッチする製品を導入する事で、お客様より支持を得られる様になっています。
また当部の仕入供給ソースは国内メーカーだけに留まらず、アジア近隣諸国並びに欧米と広範囲にわたっております。

●戦略ビジョンについて

先進国のみに留まらない全世界的な産業の発展は、環境問題を解決する事が産業全体での喫緊の課題であると捉えられており、そこに顧客ニーズが潜在していると思いますので、化学品第2部では大気・水質・土壌汚染の浄化にかかわる製品に注力して行きたいと考えていますし、更に地球に優しい新しいエネルギー源の発掘を国内外で行い、それらを普及させて行きたいと考えています。
また広範囲での事業領域である事を利して、各業態に存在する潜在的なニーズの発掘やその横展開にも積極的にチャレンジも行ってまいります。
なお食品の安心・安全に対する消費者の関心は益々高まっており、全社で連携を取りながら、食肉加工・果実野菜業界向けに新しいタイプの殺菌剤の普及を促進させる事で、食品の安心・安全を担保する事への貢献をして行きたいと考えています。
今後、当部では、世界市場全体での新しい展開を図っていきます。現在は特定アジア市場との取引が中心になっておりますが、今後は世界市場全体を見据えた新たな輸出入の取引拡張を進めてまいります。



事業紹介 - Business overview -

化学品第3部

●業務内容

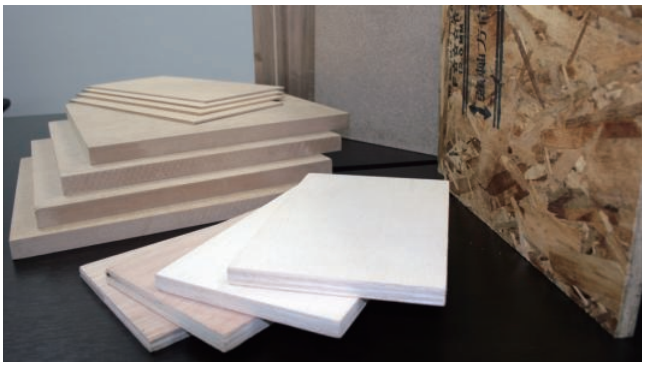
従来は国産南洋材合板及びマレーシア産、インドネシア産輸入合板を主に取り扱っておりましたが、現在では時代の変遷と共に合板に続くエンジニアードウッドとして、カナダ、ドイツ、ルーマニア産OSB(Oriented Strand Board)やオーストリア産メラミン化粧板、ニュージーランド、マレーシア産MDF(Medium Density Fiberboard)といった繊維板、また中国産ポプラLVL(Laminated Veneer Lumber)といった積層材やカナダ産針葉樹製材品、トルコ産ABS樹脂テープ等の輸入販売にも力を入れています。

●特徴

かつて50年以上にわたり自社で合板メーカーを運営していたことから、その長年の経験・知識の蓄積を活かして、合板・建材専門分野でのお客様とのパイプを強化、信頼信用を獲得してきたことが特徴のひとつです。
また合法材や森林認証材といった地球環境に配慮した商品ニーズの高まりの中で、よりサスティナブルな森林資源の維持・活用及び製品の高度利用・高付加価値化に注力しております。

●戦略ビジョンについて

キーワードは“エコ(Eco)”です。
合法材への取り組みについては既に日本木材輸入協会、日本合板商業組合の団体認証を取得済みですが、2017年に新たに施行された「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(クリーンウッド法)」にも対応すべく、第1種及び第2種木材関連事業者に登録(2018年3月)、また世界的な二大森林認証制度である、FSC及びPEFCのCoC認証を取得(2010年8月)するなど、木材・建材業界の健全な発展に寄与していくことで業界をリードしていきます。
また今後は木質建材のみならず、バイオマスエネルギー分野、炭素繊維系新建材分野における商品開拓にも積極的にチャレンジしていきます。



食品新規事業部・化学品新規事業部

●業務内容

2015年に従来の当社の枠組みを超える新たな事業展開を目的として新規事業部を新設しましたが、より専門的な事業開発を目的とし2020年7月に食品新規事業部・化学品新規事業部に分割し、それぞれの専門性を活かして市場開拓や商品開発に取り組んでおります。
当部は当社の主力事業である食品材料、化学品材料の営業メンバーによって構成されておりますが、これ迄の主力事業における経験・実績を踏まえて既存ビジネスの枠組みに捉われない新たな業種・業界において新規開拓・新規事業展開を目指しております。

●特徴

これまで当社が培ってきた食品分野・化学品分野での知識・経験を活かし柔軟な発想で提案を行い、新しい価値を産み出し独自の商品開発・市場開拓を目指します。

1. 従来当社が携わっていない分野への提案営業、商品への価値の付与を目的とした提案。
2. 海外のサプライヤーに目を向け、国内市場で独自性のある高付加価値商品の発掘・開拓・用途提案。
3. 異なる業界間の技術を結び付ける事で、新たなコラボレーションを創出。
4. 関連企業(お客様・サプライヤー・新技術を保有する企業など)と秘密保持契約を締結し、関連企業の研究開発部門やマーケティング部門と共同で新たな技術・商品・ノウハウの開発を行う。

●戦略ビジョンについて

『ゼロからのビジネス立ち上げ』を目標に活動しております。トレンドや潜在ニーズを敏感に察知しながら、固定概念にとらわれない柔軟な発想で、新たな付加価値を提案いたします。

事業紹介 - Business overview -

開発部

●業務内容

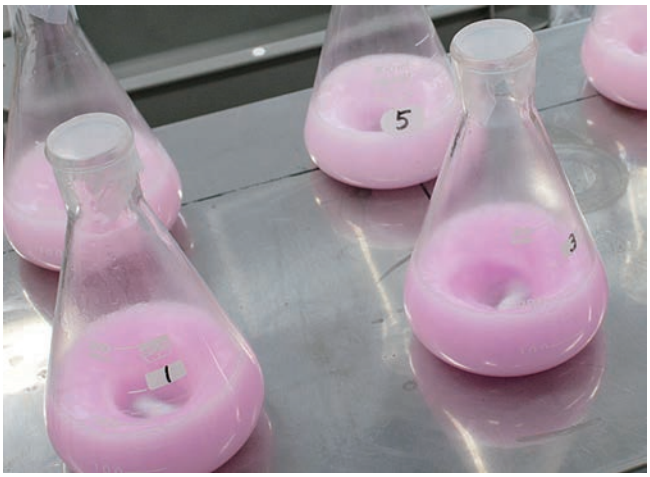
開発部は専門商社である日成共益のメインビジネスを技術的側面からサポートしています。
従来は輸入商品の品質評価や用途開発がメイン業務でしたが、近年のビジネス環境の急激な変化に対応するため、これまで培ってきたノウハウを駆使して、率先して新たな市場の開拓や用途提案を行っています。

●特徴

専門商社として開発部やラボをもっているユニークな企業は多くありません。
私たちは90年以上の知識や経験を活かし、食品分野では輸入商品のデータ提供からはじまりヨーグルト、飲料、アイス、菓子類、パンなど、様々な用途開発を行っています。
また化学品分野では紙塗工分野を得意としており、塗工液の調合から塗工紙の評価まで行い、紙塗工用薬品類のビジネスを支えています。
同時に、両分野ともに新たな素材及びその用途の開拓にも取り組んでいます。

●戦略ビジョンについて

応用開発、用途開発をメイン業務に新しい分野、業界にチャレンジをしていきます。
技術的に裏付けられた提案力で、お客様の商品の再現から解決まで責任をもって協業し成功への道を歩んでいきます。
技術的専門知識を駆使して、新規ビジネスの開拓を目指しています。



業務部

●業務内容

業務部は、当社の輸出入商品の取扱いにおいて、貿易及び物流全般の業務を行っている部門です。特に輸入商品においては、商品の輸入に当たっての確認事項（検疫・関税など）の調査に始まり、海外への発注業務、出荷確認、海上輸送管理、通関処理、海上保険処理、倉庫管理、国内顧客への配送管理に至るまで、輸入貨物の一貫管理を行っております。
当社の営業部門が顧客から頂く海外商品や海外サプライヤーに対してのご要望を的確に把握し、貿易・物流両面における適切な提案や実務作業を迅速に行う事により、当社営業部門と協業して国内外の顧客並びに海外サプライヤーのいずれもがご満足して頂けるような活動にて当社営業部門の下支えとなるよう心掛けております。
また2018年7月より新たに品質管理チームを当部内に設置し、従来から管理していた輸入食品材料について、海外サプライヤーの代理人としての立場を取り、品質管理責任部門として、法制度に準じた輸入商品の品質管理業務により一層高いレベルで携わって参ります。

●特徴

業務部では、一つのチームとして輸出入管理を行っておりますが、当社の営業体制に応じまして、食品輸出入・化学品輸出入・国内物流の3つのグループに分かれて業務活動を行っております。それぞれのグループの所属員が、貿易・物流のプロとして、顧客並びに海外サプライヤー、さらに協力して作業を行っている倉庫・物流会社の皆様と共に円滑な貿易・物流業務活動を通じて社会への貢献を目指して参ります。

取扱商品

取扱商品名

輸入乳製品

カゼイン、カゼイネート、乳糖、ホエイ蛋白（WPC、WPI、等）
ホエイ分解物、MPC、チーズ、乳調製品、調製食用油脂
バター、バターオイル、脱脂粉乳、ホエイパウダー
減乳糖ホエイ、ミルクカルシウム、ラクトフェリン　等

国内乳製品

全脂粉乳、 脱脂粉乳、 ホエイパウダー
練乳、 チーズ、 調製粉乳　 等

機能性原料

加工澱粉、食物繊維（ポリデキストロース）
各種高甘味料　等

小麦製品

小麦粉、 小麦粉調製品、 小麦澱粉
小麦たんぱく製品　 等

調味料製品

各種調味料、各種節類、各種エキス類　等

その他製品

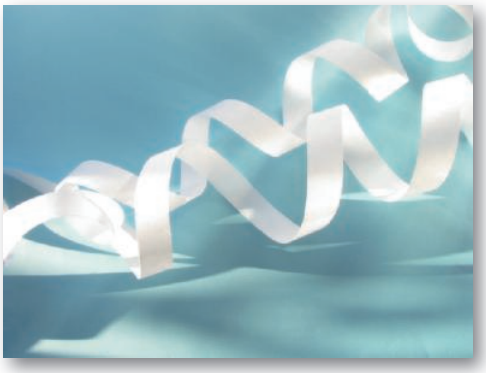
インスタントコーヒー（フリーズドライ、スプレードライ）
クリーミングパウダー、パスタ各種
果実・野菜加工品
機能性食品、機能性素材
ワイン　等

取扱商品

取扱商品名

製紙用資材及び化学工業薬品その他

SBR ラテックス、アクリルエマルジョン
酸化澱粉、コート用澱粉、カチオン化澱粉、各種工業用澱粉
合成シリカ、ホワイトカーボン、カレット
酸化チタン
酸化マグネシウム
水酸化アルミニウム、ジルコニウム耐水化剤、凝集剤
製紙用カオリンクレイ、内添用カオリンクレイ
炭酸カルシウム (軽質)、消石灰、生石灰
炭酸カルシウム (重質)
マイカ
無水燐酸、銅粉
燐酸塩
亜鉛防錆剤、離型剤
アクリル酸エステルモノマー、オリゴマー
ABS 樹脂
塩ビ系ラテックス、濡剤
各種合成樹脂、プラスチックピグメント
カチオン化剤、キレート剤、増膜助剤
気化性防錆剤
蛍光塗料増白剤
コンクリート用化学混和剤、白華防止剤
酢ビ、酢ビアクリル共重合エマルジョン
CMC、PG、DPG 、シクロデキストリン、CNT
一液型無機無溶剤塗料、活性炭
気相法シリカ、アルミナ
過酢酸製剤、過硫酸塩
タイヤチップ
木質バイオマス
コラーゲン、低分子コラーゲンペプチド、消臭剤
重金属固定化剤
潤滑油、各種コート剤、機能性薬剤、包材、容器



取扱商品

取扱商品名

製紙用資材及び化学工業薬品その他

紙力増強剤、耐水化剤、消泡剤、サイズ剤、水系ウレタン、
水系塗料、コーティング剤、スライムコントロール剤、防腐剤、
防黴剤、製紙用助剤、分散剤、セルローススポンジ、難燃剤、
湿潤剤、カップリング剤、硬化遅延剤、二酸化チオ尿素、
P.V.A、メチルセルロース、シリコーン、有機顔料、
ラテックスコンパウンド

機械類

計量機、充填包装機、透気度試験機

合板、建材、新建材、その他

各種国産合板、輸入合板、パーティクルボード
低圧メラミン化粧パーティクルボード、ABS樹脂テープ
OSB（配向性ストランドボード）、MDF（中質繊維板）
LVL（単板積層材）、製材（一般建築用、家具、木工用）
集成材（家具、木工用）